

さよなら、馬寄団地。

終戦、焼野原、住宅不足。

約三十平米に家族三世代が暮らす時代。

51C型の間取りの誕生と、日本初のダイニングキッチンの導入。

そして、二〇一八年九月、解体。

日本の住宅史に名を刻んだ建物が、六十余年の歴史に幕を下ろす。

この夏、その目で、住まいの歴史を見に行こう。

馬寄団地解剖ミュージアム

オープンセミナー in 北九州



「大里南市民センター」にてセミナー (40分)

講師：九州産業大学 福山秀親教授、諫見泰彦准教授、信濃康博准教授

馬寄団地の歴史と現地での発見

51C型誕生秘話、暮らしの素はこうして生まれた

ダイニングキッチンの誕生と現代の住まい

nLDKの定着が日本の住宅にもたらしたものは？

移動 徒歩5分

「馬寄団地解剖ミュージアム」全8室を鑑賞

4階建ての馬寄団地を、階ごとにテーマを設定して展示空間を作成。

- ・1階「仕組」基礎部分の構造が見られる仕掛けを施した、構造体験室。
- ・2階「背景」51C型に至るまでの、日本の住まいと暮らしの歴史を紹介。
- ・3階「比較」生活スタイル・間取り・広さ・平均身長等、当時と今を徹底比較。
- ・4階「展開」現代風にリノベーションした馬寄団地。大胆な発想の空間体験。

開催日時：2018年8月18日(土)

集合場所：大里南市民センター 2階 会議室 / 参加費：無料

午前の部：11:00～13:00 (10:30より受付) 定員15名

午後の部：14:00～16:00 (13:30より受付) 定員15名

・参加対象者：中学生・高校生、および一般の方々。

夏休みの自由研究としてもお勧めいたします。

・お申込方法：メール ☒ お名前、年齢、メールアドレス、ご希望の時間帯、学校名(所属)をご記入の上「isami@ip.kyusan-u.ac.jp」までお申込みください。

電話 ☎ 092-673-5781 (担当：諫見)

*先着順、定員に達し次第、受け付け終了とさせていただきます。

*午前・午後ともに内容は同じです。



「馬寄団地解剖ミュージアム」

福岡県住宅供給公社 馬寄団地3号棟 / 福岡県北九州市門司区社ノ木1丁目7

1954年/昭和29年築64年/鉄筋コンクリートラーメン構造4階建/全24室(内8室を解剖展示)

延床面積：993.55㎡約300.5坪/住戸面積：51C型35.40㎡約10.7坪

*馬寄団地解剖ミュージアムには冷房設備はございませんので、飲み物の用意する等、各自で暑さ対策の準備をお願いいたします(大里南市民センター2F会議室1は冷房設備あり)。